

Q&A

急性膵炎を繰り返した40歳代男性

解答：

膵動静脈奇形 (pancreas arteriovenous malformation ; 膵 AVM)

解説：

急性膵炎はアルコール性と胆石性が2大成因であるが、その他の成因も少なくない。膵 AVM はまれな疾患であるが、急性膵炎や消化管出血の原因として念頭に置く必要がある。特に膵 AVM による急性膵炎は再発を繰り返す、難治性となることが多い。膵 AVM による膵炎発症機序としては、膵管の圧排や膵管内への出血による膵管内圧の上昇、また膵内シャントや出血による膵実質の虚血などが想定されているほか、膵炎による血管新生の結果として AVM が形成されるという説もある。特徴的な画像所見が診断に有用である。すなわち、腹部エコー検査では膵内の拡張した血管が無エコーまたは低エコー域として描出され、ドプラモードで内部に血流を描出できる。CT 検査では造影早期相において膵内の網状の濃染と門脈系の早期描出が、腹部血管造影検査では膵内血管網

濃染像や門脈系の早期描出、蛇行した feeding artery や drainage vein などの所見が認められる。本症例においても、腹部エコー検査 (Figure 1) で膵頭体部に低エコーの集簇 (矢印) を認め、パワードプラモードでは同部位に拍動性の血流シグナルが認められた。また、腹部 CT 検査 (Figure 2) では、造影早期相で膵頭体部の病変は強く造影され、肝内門脈も強く造影された。腹部血管造影検査 (Figure 3 : 腹腔動脈造影) で、膵頭体部に網状血管増生と膵内血管網濃染像を認め、門脈も早期に描出された。治療としては、AVM の流入血管は複数であることが多く、経カテーテル動脈塞栓術単独による AVM の完全な塞栓は困難とされる。このため、膵切除術が根治的治療法として位置づけられている。本症例は急性膵炎を繰り返しており、根治的に膵頭十二指腸切除術を施行した。その後、膵炎の再発は認めていない。

参考文献：

- 1) Kanno A, Satoh K, Kimura K, et al: Acute pancreatitis due to pancreatic arteriovenous malformation: 2 case reports and review of the literature. *Pancreas* 32; 422-425: 2006

本論文内容に関連する著者の利益相反

：なし

出題：正宗 淳 (東北大学大学院

消化器病態学分野)

菅野 敦 ()

中野絵里子 ()

下瀬川 徹 ()

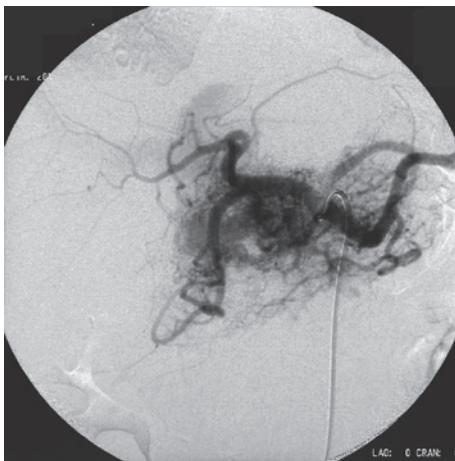


Figure 3. 腹部血管造影検査 (腹腔動脈造影).